

【板橋区】胃がん検診（胃部エックス線検査）平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|------------------------------------------|-------|
| 対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可 | していない |
| 検査方法（胃部エックス線検査） | している |
| 検査方法（胃内視鏡検査） | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|---------|---------|---------|
| 該当年齢の人口 | 108,286 | 121,146 | 229,432 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：58.7%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 1,724 | 2,021 | 3,745 |

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 2.7% | 2.8% | 2.8% |
| 要精検率 | 11%以下 | 10.8% | 11.3% | 11.1% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 80.1% | 87.7% | 84.3% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 15.6% | 11.4% | 13.3% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 4.3% | 0.9% | 2.4% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 2.2% | 1.8% | 1.9% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.23% | 0.20% | 0.21% |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|------------------------------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | ペプシノゲン検査及びヘリコ バクターピロリ抗体検査 |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

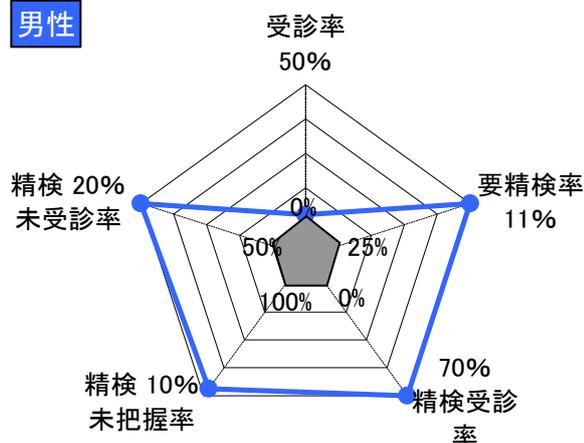
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」

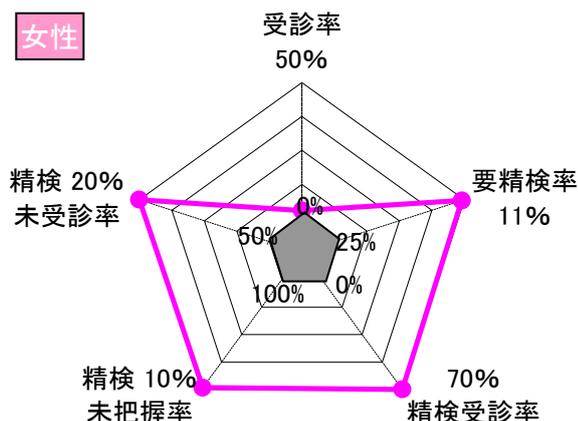
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/
data/kaisetu.html](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html)

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【板橋区】肺がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

| | |
|---------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|---------|---------|---------|
| 該当年齢の人口 | 154,845 | 164,420 | 319,265 |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：65.5%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 2,164 | 2,785 | 4,949 |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

※<国の指針に基づく肺がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 2.1% | 2.6% | 2.4% |
| 要精検率 | 3%以下 | 3.8% | 2.7% | 3.2% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 82.9% | 83.8% | 83.3% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 13.4% | 16.2% | 14.7% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 3.7% | 0.0% | 1.9% |
| 陽性反応適中度 | 1.3%以上 | 3.7% | 2.7% | 3.2% |
| がん発見率 | 0.03%以上 | 0.14% | 0.07% | 0.10% |

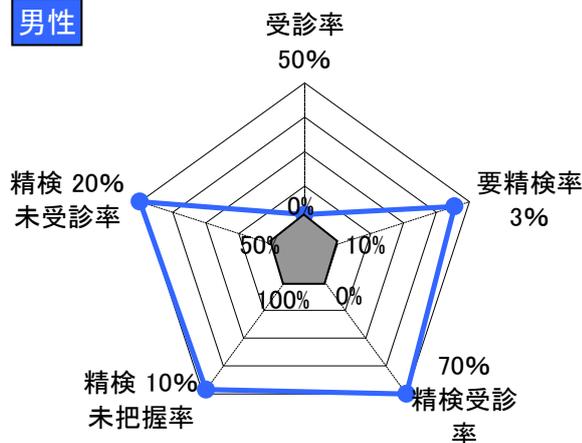
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

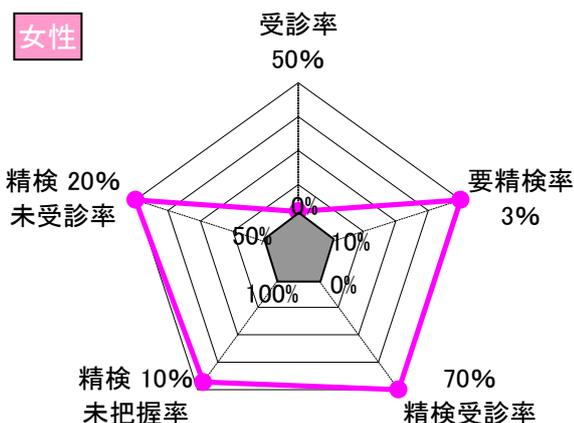
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

【板橋区】大腸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査（二日法）） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------|
| 対象年齢以外の実施 | 35～39歳 |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|---------|---------|---------|
| 該当年齢の人口 | 154,845 | 164,420 | 319,265 |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：62.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 29,944 | 47,536 | 77,480 |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | 一部該当 |
| 過去5年間の受診歴を記録 | 一部該当 |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | している |

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 31.0% | 46.4% | 39.0% |
| 要精検率 | 7%以下 | 11.3% | 7.5% | 8.9% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 39.9% | 42.2% | 41.1% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 44.8% | 42.4% | 43.6% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 15.3% | 15.4% | 15.3% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 1.9% | 1.5% | 1.7% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.22% | 0.11% | 0.15% |

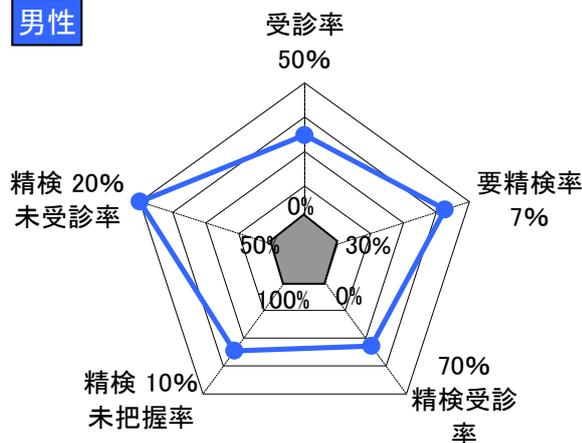
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

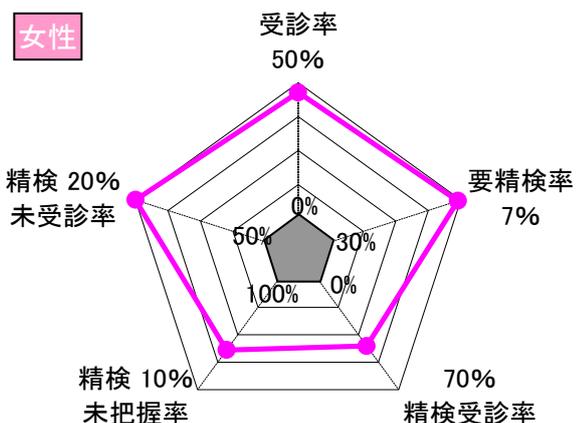
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

【板橋区】子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | 一部毎年 |
| 検査方法（細胞診） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-----------|
| 対象年齢以外の実施 | 20～29歳は毎年 |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|---------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 241,915 | |
| 【東京都調査による対象者率(区部)：66.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 10,007 | |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | していない |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 13.1% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 1.2% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 62.4% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 34.2% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 3.4% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 0.9% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.01% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<2年連続受診者未把握>

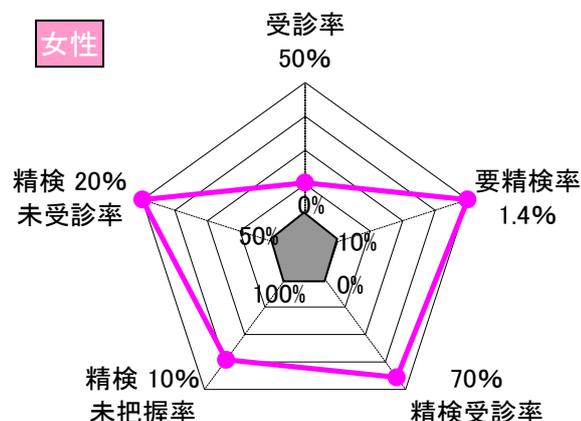
2年連続受診者が把握・集計されていません。正確な受診率や受診者の特性を把握するためには、2年連続受診者の集計が必要です。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。



【板橋区】乳がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（マンモグラフィ） | している |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|--------------------------|----|---------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 164,420 | |
| 【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 7,103 | |

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | していない |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 12.9% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 13.1% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 76.4% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 23.0% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 0.5% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 3.4% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.45% | |

プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

女性

